

千葉大学医学部附属病院で胸椎症性脊髄症、後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症、脊髄腫瘍、椎間板ヘルニアと診断され手術を施行された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年7月17日
リハビリテーション部

千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部では、圧迫性胸髄症患者に対する術後急性期における歩行トレーニングの治療効果に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年7月6日から2025年12月31日までの期間に、当院整形外科において胸椎症性脊髄症、後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症、脊髄腫瘍、または椎間板ヘルニアに対する手術を施行された患者さんのうち、手術前もしくは手術後に自力歩行が困難であった方。

1. 研究課題名

「重度歩行障害を有する圧迫性胸髄症術後急性期における歩行トレーニングの治療効果：後方視的観察研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院では、上記診断名による圧迫性胸髄症で手術を受けられた方のうち、自力で歩くことが難しい患者さんに対し、歩行機能の向上を目的に手術後早期からのリカンベントエルゴメーターと吊り下げ型体重免荷式歩行器を用いた歩行トレーニングを実施しています。本研究では、歩行トレーニングの治療効果を検討することを目的としています。

情報収集の方法は、診療記録より後方視的に調査させていただきます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療情報：診療記録に記載されている氏名、年齢、性別、身長、体重、BMI、罹病期間、既往歴、臨床症状、合併症、歩行機能、神経症状の重症度、下肢筋力、下肢感覚

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部

研究責任者：リハビリテーション部 准教授 村田淳

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部 村田 淳

043（222）7171 内線6430